

地域とアートの連携

—文化政策の新たな可能性を探る

12.13

土

13:00～16:30

北海道大学大学院環境科学院D101
(北海道札幌市北区北10条西5丁目)
+ Zoom同時開催

近年、国際芸術祭、参加型アートプロジェクト、アーティスト・イン・レジデンスなど、文化芸術活動が地域政策と連動して展開されています。2017年施行の文化芸術基本法では、観光・まちづくり・教育・福祉など他分野と文化芸術の連携が明記され、地域活性や社会的包摂といった経済的・社会的側面への期待が高まる一方で、芸術本来の創造性や感動の軽視への懸念もあります。

本研究大会では、専門家と実践家を迎え、文化芸術を支援する中間支援組織の役割や、道内外の他分野連携の事例を通して、文化政策の新たな展開と課題を共有し、地域とアートがともに未来をつくる可能性を探ります。

第一部 基調講演

13:10～

「“人”からはじまる地域の文化政策 — 多様なつながりを紡ぎ合う」

関 鎮京 氏 北海道教育大学岩見沢校
芸術文化政策研究室 准教授

「教育とアートのあいだに立つ — 中間支援の実践から見たもの」

森嶋 拓 氏 株式会社ラツカ 代表取締役
スパークプラグ・アライアンス
ディレクター

「地域におけるアートの価値 — 白老での活動から考える」

山岸 奈津子 氏 一般社団法人 SHIRAOI
PROJECTS 代表理事

第二部 パネルディスカッション

15:00～

- ・ 関 鎮京 氏
- ・ 森嶋 拓 氏
- ・ 山岸 奈津子 氏

【モデレーター】渡部 聡子（北海道大学大学院
メディア・コミュニケーション研究院 准教授
日本地域政策学会 北海道支部副支部長）

参加費：無料（要事前申し込み）

※ 地域づくりや地域政策、文化行政に関する研究者および実務家、テーマに関心のある方なら
どなたでもご参加いただけます

【主催】日本地域政策学会北海道支部

【後援】北海道大学大学院 国際広報メディア・観光学院
北海道大学大学院 メディア・コミュニケーション研究院

＜お問い合わせ＞ 日本地域政策学会 北海道支部事務局 info@jrps-h.org（担当：神）

お申込み
フォーム

